

環境・まちづくり特別委員会 送付4-28

日本テレビ再開発提案に関する説明会の再度開催を求める陳情書

受付年月日 令和4年11月25日

陳情者 提出者 1名

2022年11月25日

千代田区議会議長
桜井 ただし 様

日本テレビ再開開発提案に関する説明会の再度開催を求める

陳 情 書

日頃、お世話になっており、お陰様で恙なく生活できておりますことを感謝申し上げます。

昨今、番町区域における日本テレ再開開発提案により、穏やかな生活が大きく変化するのではないかと不安を感じております。日本テレビは地域課題を解決する引き換えとして、再開開発等促進区を定める地区計画の適用を前提*に、自社の敷地のみ住民の合意で決めた現行の地区計画の変更を求めています。現行の高さ60mを撤廃し、高さを30m増し1.5倍の90mに割増した新オフィスビルの建設計画を提案しました。中立であるべき区もこれを支持し、スケジュールに則って計画を推進しているように感じます。

* 二番町地区 地区計画の変更に係る素案の説明会で配布された資料より引用。

一住民として日テレに対するこの割増し分が過剰ではないかと危惧しております。

二番町住民に対し再度説明会を開催し、十分な説明をして頂くことを千代田区に求めます。

個々人の個別の質問に対する回答ではなく、説明会の開催と質疑に対する十分な時間を求めるのは、説明会に参加した住民が他の方の意見や質問を共有することによって、理解を深め、地域住民としての共通理解を持つためです。

6月、8月の地区計画についての説明会では、説明30分、質疑30分でした。よく理解できなかったのでパブリックコメントにも意見が書きにくかったです。11月の二番町地権者向けの説明会では説明会への参加回数が制限され、発言や質問は質疑の時間の前に挙手し、1回限りと制限されました。質問や意見は話を聞いてすぐに思いつくわけではなく、他の人の話を聞いて思い浮かぶものもあります。また縦覧は身近な麴町出張所などではなく、区役所にて平日8:30~17:00に行われ、番町の一般住民のために開催しているとは思えません。住民に対する区の対応は十分とは思えませんでした。

千代田区ホームページに9月に行われたパブリックコメントについて、「地区計画の策定・見直しの検討に当たっては、(中略)皆様の話し合いが円滑に進むよう、必要な情報を提供するなどの支援を行っていきます。」や「どの地区計画を選択し、どのようなルールを決めていくかは、各地区の住民等の皆様で話し合っ決めてものと考えています。」と、区の考え方が示されています。しかし、今の行政のやり方では住民の意見は単なるガス抜きでしかなく、十分な意見交換や話し合い、納得のいく意見の集約はできていないと思います。後悔のないよう、十分な時間と話し合う環境を作って下さい。



以上